

安全データシート

新規作成 : 2021年10月14日

改訂 : 2021年12月24日

1. 製品及び会社情報

製品名 : ピュアリーフエコ アルコール除菌液

製造者情報

会社名 : 三菱製紙株式会社

住所 : 〒130-0026 東京都墨田区両国2丁目10番14号(両国シティコア)

担当部門: 技術環境部

問い合わせ窓口: 機能商品事業部 事業開発部 マーケティンググループ
(電話番号: 03-5600-1473)

推奨用途及び使用上の制限 : 手指の消毒

物品の除菌

手指の消毒以外には人体に使用しないこと。

飲用しないこと。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 引火性液体

区分3

健康に対する有害性: 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

区分2

発がん性

区分1A

生殖毒性

区分1A

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

区分2

(中枢神経系、全身毒性)

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

区分3

(気道刺激性、麻酔作用)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

区分1

(肝臓)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

区分2

(血液系、中枢神経系)

環境に対する有害性: 分類基準に該当しないまたは分類できない

ラベル要素



炎



感嘆符



健康有害性

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 引火性液体および蒸気

強い眼刺激

発がんのおそれ

生殖能または胎児への悪影響のおそれ
臓器の障害のおそれ（中枢神経系、全身毒性）
呼吸器への刺激のおそれ
眠気またはめまいのおそれ
長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害（肝臓）
長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ
（血液系、中枢神経系）

注意書き

熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地すること／アースをとること。
防爆型の機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
必要に応じて、不浸透性保護手袋、保護眼鏡、保護マスク、保護衣を着用すること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
アルコール製剤のため子供やアルコールに敏感な人は注意すること。

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

一般名 :

成分及び含有量

	官報公示整理番号	Cas No.	含有量wt%
エタノール	* (2)-202	64-17-5	50 - 55
水	対象外	7732-18-5	40 - 48
イソプロピルアルコール	** (2)-207	67-63-0	< 5
グリセリン	(2)-242	56-81-5	< 1

* エタノール 安衛法57条の2 通知対象物質 施行令第18条の2

** イソプロピルアルコール 安衛法57条の2 通知対象物質 施行令第18条の2

4. 応急措置

吸入した場合 : 大量の蒸気またはミストを吸入した場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移動させ安静にしてください。呼吸が弱かったり、止まっている場合は、衣類を緩め呼吸気道を確保した上で人口呼吸を行ってください。呼吸していて嘔吐がある場合は、頭を横向けにしてください。体を毛布等で覆い、保温して安静に保ってください。応急措置を施したあと、すみやかに医師の診察を受けてください。

皮膚に付着した場合 : 手指消毒以外で皮膚または髪に接触した場合は、すみやかに濡れたタオルや布で拭き取り、後に流水で洗い流してください。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合は洗濯してください。皮膚刺激または発疹・発赤

- が生じた場合は、直ちに使用を中止し医師の診察を受けてください。
- 眼に入った場合 : 直ちにきれいな流水で15分以上洗い、炎症が残っているようでしたら医師の診察を受けてください。洗浄の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄してください。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄を続けてください。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄した後、直ちに医師の手当を受けてください。意識があっても無理に吐かせないようにしてください。また、意識が無い場合は、口から何も与えないでください。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水、水霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤 : 大火災の場合は棒状注水を避けること
- 特定の消火方法 : 周辺火災の場合には移動可能な容器は速やかに安全な場所に移してください。アルコール火災に準じた消火活動を行ってください。
- 保護具等 : 消火の際は自給式呼吸器具及び完全保護具を着用してください。風上から消火活動を行ってください。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止してください。保護具（送気マスク、空気呼吸器、保護手袋、ゴーグル型保護眼鏡、保護面、安全帽、長袖保護服、保護長靴など）を必ず着用して回収してください。風上で作業してください。多量の場合は、人を安全に避難させてください。
- 環境に対する注意事項 : 漏出した液体や洗浄に使用した汚染水が河川等に排出され、環境に影響を及ぼさないよう注意してください。
- 除去方法 : 少量の場合には、こぼれた場所を速やかに大量の水で洗い流してください。大量の場合には、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）へ吸着させて、密閉できる空容器に回収してください。回収した液、吸着剤等を廃棄する場合は関係法規に従ってください。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 火気厳禁とし、熱、火花、裸火、高温のような着火源の接触をさけてください。適切な保護具（保護眼鏡、保護手袋、保護マスク、保護衣）を着用し取扱ってください。
- 休憩場所には、手洗い、洗顔等の設備を設け、取扱い後には手、顔等よく洗うようにしてください。
- 局所排気・全体換気 : 強制排気による換気を行ってください。
- 注意事項 : 取扱いは十分な換気の下で行ってください。
- 保管 : キャップあるいは蓋を確実に閉めて、涼しい場所に置いてください。子供の手の届くところには置かないでください。施錠して保管してください。容器を密閉してください。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：全体換気または局所排気装置による換気

管理濃度 安衛法管理濃度：イソプロピルアルコール 200ppm

許容濃度：日本産業衛生学会 イソプロピルアルコール 980mg/m³、400ppm（最大許容濃度）

ACGIH/STEL エタノール 1,000ppm

イソプロピルアルコール 400ppm

保護具：呼吸器 保護マスク

手 保護ゴム手袋

眼 保護眼鏡

皮膚及び身体 保護衣

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体

色：無色

臭い：特徴的な臭気

pH (at25°C)：データなし

沸点：データなし

融点：データなし

引火点：24°C（タグ密閉式）

燃焼点：24°C（タグ開放式）

自然発火温度：データなし

爆発下限界または爆発上限界／可燃限界：データなし

動粘性率：データなし

可燃性：可燃

蒸気圧：データなし

相対ガス密度：データなし

密度及び／または相対密度：0.880－0.900(at25°C)

溶解度：水に混和

オクタノール／水分配係数：データなし

分解温度：データなし

粒子特性：非該当

10. 安定性及び反応性

反応性：特になし

化学的安定性：通常の取扱い条件下では安定である。

危険有害反応可能性：特になし

避けるべき条件：直射日光、熱、火花、裸火、高温、その他発火源

混触危険物質：酸化剤、強アルカリ、強酸

危険有害な分解生成物：特になし

11. 有害性情報

急性毒性（経口、経皮、蒸気）：区分に該当しない

エタノール LD50 6,200mg/kg（ラット経口）

LDLo 20,000mg/kg（ウサギ経皮）

LC50 63,000ppmV（ラット吸入：蒸気）

イソプロピルアルコール LD50 4,384mg/kg（ラット経口）

LD50 12,870mg/kg（ウサギ経皮）

LC50（4時間） 27,908ppmV（ラット吸入：蒸気）

皮膚腐食性／刺激性：区分に該当しない

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：区分2

エタノール 区分2B

イソプロピルアルコール 区分2

呼吸器感作性または皮膚感作性：情報が少なく分類できない
 生殖細胞変異原性：情報が少なく分類できない
 発がん性：区分 1 A
 エタノール 区分 1 A
 生殖毒性：区分 1 A
 エタノール 区分 1 A
 イソプロピルアルコール 区分 2
 特定標的臓器毒性－単回ばく露：区分 2（中枢神経系、全身毒性）
 区分 3（気道刺激性、麻酔作用）
 エタノール 区分 3（気道刺激性、麻酔作用）
 イソプロピルアルコール 区分 1（中枢神経系、全身毒性）、区分 3（気道刺激性）
 特定標的臓器毒性－反復ばく露：区分 1（肝臓）
 区分 2（血液系、中枢神経系）
 エタノール 区分 1（肝臓）、区分 2（中枢神経系）
 イソプロピルアルコール 区分 1（血液系）、区分 2（呼吸器、肝臓、脾臓）
 誤えん有害性：情報が少なく分類できない

1 2. 環境影響情報

生態毒性：データなし
 残留性・分解性：データなし
 生体蓄積性：データなし
 土壤中の移動性：データなし
 オゾン層への有害性：分類できない
 （モントリオール議定書の附属書に記載される物質は使用していない）

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：水質汚濁防止法（生活環境項目）及び下水道法（下水の排除の制限）に該当しますので、河川、下水等にそのまま排出しないでください。引火性のある溶液ですので下水などに捨てることは出来ません。
 本製品を廃棄する場合は、「特別管理産業廃棄物（廃油）」に該当する可能性がありますので、廃液を処分依頼する時は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「都道府県条例」に従い、当該廃棄物を処理する産業廃棄物処理業として、都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理業者に、運搬、処理を委託してください。
 汚染容器及び包装：内容物を完全に除去した後に、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「都道府県条例」に従い、都道府県知事などの認可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理してください。

1 4. 輸送上の注意

国連番号 1987 ALCOHOLS, N. O. S.
 国連分類 クラス 3（引火性液体）
 容器等級 III
 消防法 非危険物
 航空法 引火性液体（施行規則第194条危険物告示別表第1）

船舶安全法

引火性液体類（危規則第3条危険物告示別表第1）

1 5. 適用法令

安衛法：通知対象物質 エタノール、イソプロピルアルコール

化管法：非該当

化審法：優先評価化学物質 イソプロピルアルコール

毒劇法：非該当

危規則：引火性液体類

消防法：非危険物

1 6. その他の情報（引用文献等）

独立行政法人 製品評価基盤機構 「化学物質総合情報提供システム（CHRIP）」
「GHS分類対象物質一覧」

本シートの内容は発行時における知見に基づいて作成したものです。作成の目的は製品の安全に関わる情報を提供するものであって、性能・品質を保証するものではありません。記載事項は今後の知見により改訂されることもあります。記載内容の内、含有量・物理的及び化学的性質などの値は保証値ではありません。注意事項は通常の取扱い対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点をご考慮願います。危険・有害性の情報は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。